

ずいそう

## 2008年「岐阜県ラグビー祭 IN 大垣」

中村 昭一



「平均化すれば」、「全体的にみれば」の言葉は、「バラツキ」や「変化があった」時につかわれる事が多い。仕事上の報告をする時には、バラツキの事実があるのに平均化して（平均値を）報告することは避けている（上位職が判断を誤る情報は流さない）。

仕事に遊びに自分なりに頑張った1年、良い事もあったのに「全体的に見れば（1年を通してみたら）、余り良い年ではなかった」ではあまりにも寂しい感があり、50歳になった時に、毎年12月に今年もいろんな事があったが、こんな良い事もあったな…と、必ず良い事を振り返るようにしている。

2008年を振り返った時、世界中が経済危機に陥り、日本の国内も雇用問題をはじめ、暗く厳しいニュースの報道が多くあり、決して明るい年ではありませんでした。

年をかさねる毎に、良い事を振り返るまでに時間がかかるようになりましたが、2008年の良い事は直ぐに頭に浮かびました。

5月にコベルコ建機大垣事業所がある地元の大垣市で「岐阜県ラグビー祭 IN 大垣」が開催されることになり、コベルコ建機も協賛会社として大会準備を担当する事になりました。

私自身は小学校時代から野球少年で、ラグビーの競技経験は全くありませんが、10代のころからラグビーの試合を見るのが大好きでした。学生、社会人の大会のテレビ放送があれば必ず観戦している。

野球、サッカーに比べるとテレビ放送が少ないの残念でしょうがない。

心・技・体を鍛えぬいたフィフティーンが一丸となった展開。ラグビーは私を熱狂させてくれる、ラグビーが大好きといいながら、私はグラウンドでは試合を見たことがありませんでした。

「岐阜県ラグビー祭 IN 大垣」の開催が5月ということで、冬のスポーツ、ラグビーの魅力である選手の体から発せられる熱気が白い湯気となるシーンは見られないかもしれないが、日本ラグビー界の最高峰トップリーグで活躍するチーム同士の試合を見ることのできるの、ラグビーファンは当然ですが、グラウンドでの試合を見たことのない私には是非とも成功させたい

イベントです。

岐阜県ラグビー祭は2008年の開催で18回目となりますが、大垣で開催されるのは初めてでした。なぜならば、大垣市には公式試合ができるグラウンドがなく、大垣での開催は難しい環境だったからです。

大垣で「ラグビー祭」を開催したいという強い思いの人たちの努力で、総合競技場が何とかラグビーの試合ができるまでになりました。

協賛会社のコベルコ建機としての大会開催に向けた準備、大会当日の役割も決まり、私は試合会場と会社が近いこともあり、会社から会場までを運行するシャトルバスの責任者としてお手伝いする事になりました。会社発の最終バスに同乗し、試合終了後一番のバスで会社へ戻れば試合を観戦することができ、初めてラグビーの試合をグラウンドで観戦できることを楽しみにしていました。あとは天気、気になってインターネットで確認したら前日と当日は雨の予報でした。前日までは天気予報通りの雨でしたが試合当日は快晴。最高の状態でラグビーの試合をスタンドで観戦できると喜んでいたのも一瞬。試合当日、私に宣告されたのは、遅れて来る人のために駐車場待機することでした。

ラグビーの試合を生で観戦することには縁がないでしょうか。（残念）

後日、テレビで「岐阜県ラグビー祭 IN 大垣」の特集が放映されていたので見ましたが、試合終了間際の逆転劇というスポーツの醍醐味を感じることができた好試合でした。トップリーグ同士の試合の他にエキシビジョンとして開催された小学生ラグーマンへのラグビー教室などイベントは大成功でした。

直接、試合を見ることはできませんでしたが、コベルコ建機の協賛した「岐阜県ラグビー祭 IN 大垣」を多くの方に楽しんでいただけた事は、ラグビーファンとして大変嬉しく思いました。

2009年は「100年に一度の危機」と言われる不況が世界中を席卷している厳しい状況ですが、自分自身にできる事、やらなければいけない事を精一杯やって、今年も、良い事が一つでも二つでもある年にしていきたい。